

# 新型コロナウイルス感染症にかかる心の健康相談に関する精神保健福祉センターの対応状況

新型コロナウイルス感染症にかかる心の健康相談について、精神保健福祉センターで電話相談を受けた件数及び内容は以下のとおり。

## 【相談件数】

○都道府県・政令指定都市の精神保健福祉センター（69箇所）での相談件数

1,739件（2/7～3/31）

（男女別件数）

男性	635
女性	1,098
不明	6

（年齢別件数）

19歳以下	14	40代	368	70代	61
20代	54	50代	448	80歳以上	10
30代	131	60代	287	不明	366

○うち、特定警戒都道府県に指定された13都道府県の内訳

※政令指定都市を含む。

1,032件

北海道	33	千葉県	45	石川県	61	京都府	21	福岡県	29
茨城県	21	東京都	141	岐阜県	18	大阪府	130		
埼玉県	66	神奈川県	343	愛知県	53	兵庫県	71		

## 【主な相談内容】

### ○罹患に対する不安

- ・感染が怖い
- ・外出できない
- ・病院に行けない

### ○報道や対策等への疲労・ショック

- ・コロナウイルスの報道ばかりで不安
- ・マスクや消毒用アルコールがなくて不安、パニックになる

### ○生活への不安、疲労

- ・先が見えず不安、眠れない
- ・ストレス発散ができない、気分が晴れず憂鬱
- ・不安で死にたくなった
- ・仕事が休みになり、経済的に不安
- ・子どもの世話でストレスが溜まる
- ・介護施設が利用できず、介護疲れ

※相談を受けた結果、治療が必要な方については医療機関に、生活困窮の相談や職場に関する相談などについては、関係の相談窓口につなぐ対応を実施。

※精神保健福祉センターに寄せられる相談の延件数（平成30年度）：約13万件